

ともかわさきパラアートニュース

第15号 令和3年7月発行

<委託事業アトリエひらま開催>

「パラアート絵画活動 in ひらま」の一環で開催してきましたインクルーシブ絵画教室が川崎市文化財団のご後援から令和3年度パラアート推進公募型の委託事業に採択になり、第1回目の「アトリエひらま」として7月3日(土)に開催されました。StudioFLAT大平理事長を講師に迎えて、なかはら障害福祉施設ひらまの多目的室を会場に17名の応募参加者の方々にパラアート絵画を楽しんでいただきました。



10月開所予定の就労支援事業所おおしま職員の方も見学参加されていました。

最初に参加者みんなで大きなキャンパスに思い思いに描き上げて大きな作品をつくりその後は様々なサイズのキャンパスが用意されていたのでいろいろな作品ができあがりました。大きな作品は、武蔵新城のCHILLで開催されている「FLAT×CHILL SDGsなアート展」に展示されました。個々の作品はイーゼル型スタンド付きでお持ち帰りや「COLORSかわさき展」作品応募希望となりました。



<アートで人をつなぎたい「まちかどパラアート展」始動しています>

障害のある人もない人も共に文化芸術活動に親しむ環境を生み出し多様性を許容する地域社会をめざしたいと、幸区のまちかどへパラアートを展示しちゃう「ともかわさきまちかどパラアート展」を10月に開催すべく準備を進めています。今1番の課題は会場の使用許可が神奈川県住宅供給公社からいただけないこと、公社では初めての事なので理事会で説明してからになるとのこと。2番目の課題が天候です、屋外に絵画を展示するので雨天中止になってしまわないように慎重に日にちを選択中です。

<人形劇ワークショップも始まっています>

日中一時事業所ひらまでは、ここにこあおむし人形劇団とのワークショップで利用者の皆さんと人形劇作りをしています。公演はいつになるのかな。



<かわさきSDGsパートナー登録申し込みで>

社会福祉法人ともかわさきは、登録申請の中でSDGsへの貢献に向けて現在行っていることの一つとして「社会福祉法人の地域における公益的取り組みとして障害のあるなしに関係なく参加できるパラアート絵画教室を年間を通して開催するなどのパラアート活動に取り組んでいます。」を挙げています。

【ともかわさきパラアート振興基金令和3年度第1四半期】

2021年(令和3年度)			第1四半期(4月~6月)	
	収入	支出	収支	内訳等
3.04.01	223,376		223,376	前年度繰越金
3.04.07	1,500		224,876	1500絵画1点
3.04.09		1,000	223,876	絵画作者謝礼
3.04.16	1,500		225,376	1500絵画1点
3.04.16		500	224,876	絵画作者謝礼
3.05.25	1,244		226,620	1500絵画1点(マルイ扱い)
3.06.25		10,000	215,376	文化財団委託事業費(アトリエひらま)
3.06.29		10,000	214,876	文化財団委託事業費(アトリエひらま)
合計	227,620	21,500	206,120	

<基金収支> 収入は前年度繰越金と絵画のお買い上げ3点の4,244円、支出は制作者への謝礼3点分1,500円、事業費基金負担分20,000円。収支は▼17,256円で、基金残高は206,120円となっています。